

第1回 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会会議録

日 時 平成22年2月26日 午後4時から午後5時50分

場 所 ホテルプラザ菜の花 4階 中会議室(1) 楨

出席した委員

石渡徹男	東金市議会議長
氏原 強	千葉県病院局佐原病院事務局長
大矢吉明	九十九里町議会議長
横須賀收	河野陽一 千葉大学医学部附属病院長代理者
近藤俊之	(社) 全国社会保険協会連合会顧問
佐野勇一	(株) ちばぎん総合研究所経営コンサル第一部長
田畑陽一郎	山武郡市医師会会長
戸谷久子	千葉県健康福祉部長
樋口幸一	公認会計士
松永敏子	(社) 千葉県看護協会会長
水田宗子	城西国際大学理事長

出席した関係者等

志賀直温	東金市長
川島伸也	九十九里町長
平澤博之	センター長
栗原秀哉	東金市副市長
事務局	高田参事、本吉参事、高宮課長、鶴岡副課長、大池主査、古川主査、増田主査補

会議概要

委員の委嘱

東金市長、九十九里町長、センター長あいさつ

正副委員長の選任について

議事

- (1) 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会運営規程(案) 及び同傍聴要領(案) について
- (2) 地域医療センター計画について
- (3) 評価委員会の業務内容等について

開会(午後4時)

司 会 これより第1回地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会を開催いたします。

委員の委嘱状はお手元に配付しました。

委員の自己紹介をいたします。

(自己紹介省略)

司 会 東金市長、九十九里町長、平澤千葉大学名誉教授、東金市副市長を紹介。

東金市長 第1回地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会にお集まりいただきありがとうございます。

山武地域で平成10年3月に医療問題がクローズアップされ、当時も地域外搬送は、25パーセントあり、合併前の9市町村で対応について論議を進めました。その後、紆余曲折がありましたが、県と協議をし、1市1町で県試案の提案をもとに、40パーセント以上の地域外搬送を何とかしたいということで、千葉大学医学部より推挙いただいた平澤先生を中心に県試案をもとに、1年かけて医療センター計画をまとめたものです。

1月に県より病院開設許可をいただき、定款並びに評価委員会設置規約の議決をいただきました。

全国では移行型の地方独立行政法人は多いのですが、本医療センターは全国で初めての新設型地方独立行政法人となります。医療センター計画を踏まえつつ理想のかたちをどのようにつくるのが議論の中心になると思います。委員各位の知識、経験をいただいて、自立運営のできる病院作りの力添えをいただきたい。

次回以降については、地方独立行政法人の経営指標となる中期目標、中期計画を検討いただき、その結果を踏まえて6月市町議会に諮り、7月に地方独立行政法人設立の手続きの予定をしています。

九十九里町長 平成15年から始めた山武医療センター計画が破談、その後、東金市、九十九里町、大網白里町の1市2町でも一昨年の10月に破談して、県と相談しながら1市1町で始めてやっとここまでもってこることができました。東金市とともに一緒にやっていきたい。

平澤センター長 千葉大学で救急医学集中治療医学を教えていました。それで、教授会の推薦でこのセンター長予定者として、東金市の参与を務めています。委員さんには、高所から厳正かつ建設的に評価いただきたいと思います。医療センターは平成26年4月開院に向けた計画をしていますが、健全な運営が行われ、かつ、地域に役立ち千葉大学及び同附属病院と強い絆をもって経営してまいりたいと思います。ご評価をいただき、ご指導、ご支援をいただき進めていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

司 会 正副議長の選任について仮議長に東金市長をお願いします。

仮議長 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会共同設置規約第6条第1項の規定により委員長、副委員長は、委員の互選により選出するとの規定がありますが、推薦等の意見はありませんか。

委 員 委員長に近藤委員、副委員長に田畑委員を推薦します。

近藤委員は、医師であり、千葉県病院局長を経験し、医療に通じ本計画内容を熟知しています。

田畑委員は、医師であり病院を経営されており、山武郡市医師会長として地域の医療情勢にも精通し、本医療計画を熟知していることから両名が適任と思い推薦します。

仮議長 ただ今の発言でよろしいかお伺いします。

(異議なしと呼ぶ声あり)

仮議長
司 会
委員長
司 会
議 長
事務局
議 長
議 長
議 長
司 会
議 長
事務局
議 長
委 員
議 長
委 員

それでは、委員長は近藤委員、副委員長は田畑委員と決定させていただきます。
正副委員長が決まりましたので、委員長は議長席にお願いし、あいさつをお願いします。
4年前、千葉県 の 病院局に 来 ました。そのときに 前 の 計画 ですが 病院 の 開設 許可 申請 が 出 て いました。東金病院からなるべく早く新しい病院に引き継ぎたいと思っていましたが、途中で退任しました。わずかな期間でしたが、計画にも参画させていただきました。これから開院するまでの4年間の計画を立てさせていただきたいと思います。

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会共同設置規約第7条の規定に基づき委員長に議長をお願いします。

議事（1）地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会運営規程（案）及び同傍聴要領（案）について事務局より説明をお願いします。

（資料別紙1－1「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会運営規程（案）」・別紙1－2「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会傍聴要領（案）」を朗読説明）

このことについて、ご意見ご質問はありませんか。
（意見、質問なし）

この案で決定してよろしいか伺います。
（異議なしと呼ぶ声あり）

これにて決定し、本日の会議より適用します。
ここで傍聴人がいれば入室願います。
（傍聴人入室）

議事（2）地域医療センター計画について事務局より説明をお願いします。
（資料「東金九十九里地域医療センターの概要」「1市1町地域医療センターに新たな 医師派遣システム構築」に基づき説明）

何か質問はありませんか。委員はこの計画についていかがでしょうか。
今日初めて具体的な数値を見せていただきました。今まで検討されてきた結果でしょうからこのような計画を期待して、具体的な方法論については年度毎にやっていくしかないと思います。臨床教育センターについて千葉大学に対し、独立行政法人から支出される金額はいくらになりますか。人件費は、相殺されるのですか。

千葉大学医学部臨床教育センターは、計画には想定されていません。当然シミュレーション上の金額の範囲で千葉大学に寄付をする形になるものと思います。

了解しました。

委員はいかがでしょう。

東金市、九十九里町から城西国際大学看護学部設立の要望をいただきました。医師派遣システムの構築と関連があると思いますが、看護師をどう養成するか。中期計画、中期目標に記述をお願いしたい。東金地域に学生を連れてくるのは困難な状況であり、220万人の18歳人口が今後10年で100万人を切る状況です。若い人たちに看護師という職業がいかに魅力的でやりがいがあるというキャンペーンを展開しますので、奨学金などの

サポートを計画に入れていただければと思っております。

議 長 病院として4年後に看護師をどう確保していくのか。奨学金は独立行政法人が出すのか、市町が出すのか伺います。

東金市長 看護師は、城西国際大学にぜひ看護学部の設置をお願い申し上げたい。奨学金も前向きに検討し計画に取り込みたいと思います。

議 長 看護師の確保について発言はありませんか。

委 員 千葉県としても医師、看護師確保は最重要課題として取上げています。地域での看護師確保について今後も相談申し上げます。

議 長 委員いかがですか。

委 員 准看護師が占める割合が50パーセントです。順調にいても大学の開学では間に合いません。初年度にいかに質の高い看護師を数多く集めるかがポイントになります。

議 長 そのほか質問はありませんか。

委 員 49ページの収支計画の給与について、徐々に医師が増えるので3年目までは増えているが4年目以降給与が同額であるのはどのような考え方なのか。

事務局 現状の診療報酬制度をベースにシミュレーションしてあり、物価上昇分は見えていません。定期昇給のみを考えることとすべて同額としました。

委 員 全体での病床利用率について伺います。

事務局 病床利用率は、一般病床は初年度70パーセント、一般病床・HCUの2年目、3年目は80パーセント、4年目以降85パーセントです。ICU・HCUは、初年度70パーセントで、ICUは2年目以降も70パーセントです。

委 員 給与費の医業収入に占める割合は、50パーセント強で、収入単価も高いが近隣病院と比べてどうか。

事務局 この地域の病院のほとんどの入院診療単価は、35,000円から38,000円です。一次、二次の対応をしている病院で、高齢者を診ています。重症者は40パーセント管外搬送されている。近隣病院との単純比較はできないと考える。

事務局 近隣の公立病院の人件費率ですが、例えば成東病院の人件比率は70パーセントを超えています。近隣の公立病院と比べると比率は低いです。想定 of 医療機能が発揮できれば、これでいけるものと考えています。

議 長 議事(3) 評価委員会の業務内容等について事務局より説明をお願いします。

事務局 (資料別紙3-1「地方公営企業と地方独立行政法人(非公務員型)の違い」、別紙3-2「病院事業を行う地方独立行政法人の組織と市町との関係」、別紙3-3「議会と独立行政法人の関係」に基づき説明)

議 長 独立行政法人はわかりにくい。地方公営企業も会計上も難しい。民間会社で例えると株主に代わり目標をつくり、経営者、理事者側に渡すということだと思います。我々は目標及び計画について第三者として評価する立場と考えますが、委員何か意見がありますか。

委 員 評価委員会は、出てきたものに意見を申し上げます。基本的には出た原案について第三者的にみて意見を申し上げ、病院が健全に運営されることが重要です。その都度やっ

けばよいのではないかと思います。

議 長
事務局

当面何をするのかを考えたいので、続いて事務局より説明をお願いします。

資料別紙3-4「評価委員会の所管事項」に記載してある事項が評価委員会に付議される項目です。この中で中期目標は独立行政法人を設立しようとするときに、議会の議決を経た中期目標が必要ですので、まず、中期目標のご審議をお願いします。併せて中期計画の審議もお願いするものです。本来ならば、業務方法書、首長への意見の申し出については独立行政法人設立後になりますが、独立行政法人を設立しようというときには、設立前に原案の段階で協議をするという事務上の運用がされています。従って、業務方法書、中期計画、役員の報酬の設定に関する首長への意見の申し出は、法人設立前に原案という形でご審議いただきたいと思います。

これ以外のことについては、今後、独立行政法人が動き始めた後に都度、都度お諮りしたいと思います。

議 長
委 員

この地域では成東病院で独立行政法人化が計画され実施されますが、評価委員に委員が関与されていますが、新たにつくるという点では同じだと思いますがいかがですか。

先ほど人件費率についての話がありましたが、近隣病院との比較で人件費を考えるのはおかしいと思います。それよりも独立行政法人化していけば、経営の見地から独立採算に近いところまでどこまでもっていけるのか。それからどれくらいの支援があつてできるのかということ、経営体になりますので、そこからしっかり考えていただきたい。人件費率は経営に関して最も重要なことになりますので、計画を具体的にしっかり考えたほうがよいと思います。人件費率は、50パーセントで抑えてほしい。これは常識になっています。地方独立行政法人の経営の具体性と予測を現実的に考えるのが大切なことだと思います。中期計画、中期目標は市町で作って市民にも公表されるので、病院がどういうことをしてどのように貢献するのか、また、何ができるのかということをしっかり考えてほしい。地域に喜ばれるものをつくっていただきたい。評価委員会はそれを支援するという立場にありますので、提案いただきたいと思います。

議 長
事務局

中期目標、中期計画は設置者から出していただくことになると思うので、補足説明を事務局からお願いします。

資料別紙3-5「中期目標・中期計画の概要」について説明します。中期目標は設立団体側が評価委員会に諮り、議会の議決をいただくという仕組みです。内容は、期間を設定し、住民に対して提供するサービス、その他業務の質の向上に関する事項、業務運営の改善及び効率化に関する事項、財務内容の改善に関する事項、その他業務運営に関する重要事項などの定性的な方針に近いものが書き込まれることとなります。

今後4年間は、人を集め、建物を建てるという計画で、運営が始まるのは5年目以降となります。中期目標、中期計画についてどのようなものをつくるか、コンサルタントとも相談していますが、土台づくりの中期目標、中期計画に近く、ほかの独立行政法人とは違うと考えています。中期目標の期間としては4年を想定しています。

中期計画については具体的に数値目標に近いものを示すことになり、独立行政法人が定めますが、独立行政法人が現在無いことから、あらかじめ並行的に審議するということを

考えています。

中期目標、中期計画がセットになった形でわかり易く独立行政法人の経営方針とするものです。今後、具体的なものを用意して皆様に審議いただくということを考えています。

議 長 次回の評価委員会には、中期目標並びに中期計画が示されると思いますが、質疑はありませんか。

(質疑なし)

議 長 無いようですので議題はこれで終了しますが、他にご意見あればお願いします。

委員 東金九十九里地域には救急に対応する施設が無いのでそこを何とかしなければならぬ。救急を主体としてそれに4疾病4事業を含めたセンター病院をぜひつくっていただきたい。それにむけて千葉大学医学部・附属病院も協力させていただきます。筑波大学で行われているような教育センターをセンター病院につくり大学より教員として行っていただき、大学とセンターが一体化して地域の病院を盛りたてていければと思っています。筑波大学も試行錯誤を繰り返しながら行っているものと思います。千葉大学医学部・附属病院も精一杯努力したいと思います。皆様がたにもご配慮をいただければと思っています。

委員 ぜひ成功していただきたいと願っていますが、3つのポイントがあり、医師集め、看護師集め、資金集めと考えます。医師集めは千葉大学が応援してくれます。看護師集めは、千葉県看護協会長もおられるし、委員もおっしゃられたように城西国際大学に看護学部を設立ということ応援していただき頼もしく思っています。資金について、特に人件費が問題になると思います。人件費率を少なくとも50パーセントで抑えていきたい。多くとも55パーセントで抑えるのが民間病院です。地方独立行政法人であるがゆえに課税されますのでぜひ50パーセントくらいで努力するのがいいと思います。

委員 山武長生夷隅医療圏における拠点病院づくりぜひ成功させてほしいと思います。

委員 先日、厚生労働省へ行き、医政局長に私はすべてをこの事業にかけていますと申し上げました。医政局長からは、よく県と相談して進めていただきたいと言われました。その話ですが、政権が変わりましたが、医療問題は政権が変わっても変わらないだろうと言われました。医療問題はできるだけ協力させていただきたいとも言われました。ぜひ建設に向けてお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

委員 初めて細かい事業計画を伺い内容は理解できました。これから中期目標、中期計画についてアドバイスできればと思います。

委員 建設費について、自治体病院は一般論で申し上げると、当初の設備投資が多くてその後30年、40年と負担が重くなり経営が立ち行かなくなることがあります。ハード面での節約が重要です。経営的にみた節約が重要ということです。人件費を抑えて医療収入をどのように増やすかです。当面は、効率的な建設を目指すべきだと思います。

委員 この計画は、あと4年あります。「無」から「有」を作る。「有」になるまでの4年間、建築については計画ができればラインに乗るものと思います。問題は、スタートを切るまでの準備経費をどの位使って、準備をどうするかが最大な課題だと思います。スタート時はすべてが一斉にスタートしますので、進めようにも進まない状態が4年間続くと思っています。それをいかにうまく準備をして一気にスタートができるかがポイントだと思いま

す。一生懸命頑張ります。

委員 「無」から作るのはわくわくするというかすばらしい事業だと思います。力を合わせて良い医療センターをつくるということは、十二分に力を結集しなければいけないと思いますが、市長の話のように地域の医療問題は、長いことかかりやっところまでできています。これからスタートする前に他病院との医療の連携をぜひ考えていただきたいと思います。

この地域の医療があまりうまくいかないのが、開業医に大変大きな負担がかかっている、そこで地域の医療を守っていると聞いていますので、いい病院が出来ることによって、地域全体の医療が良くなっていくという意味で、ぜひ、他の病院との連携、開業医の連携を考えながら病院ができてくると皆さんに喜ばれると思います。

議長 以上ですべての日程が終わりましたが、その他で、次回の日程について協議したいと思います。

事務局 次回の日程について、中期目標と中期計画を3月中に原案を示し、協議をお願いしたいと思います。できれば3月29日午後に予定させていただければと思います。

議長 3月29日午後に開催する案が出ましたが、皆様ご都合はいかがでしょうか。

(4時まで都合つかないと呼ぶ声あり)

議長 それでは3月29日午後4時より千葉市内で開催することで仮に調整させていただくこととします。

以上で第1回地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会を閉会いたします。

司会 慎重審議ありがとうございました。これをもちまして第1回地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会を閉会します。

閉会 (午後5時50分)